

青少年委員長方針

島崎 慎也

委員会日：毎月15日前後

＝委員会メンバー＝

副委員長：高橋 幸司 柘植 寛士

運営幹事：篠原 直樹

会計幹事：竹内 英貴

委員：伊藤 大樹 段 厚美 丸山 大知 渡辺 雄生

<委員長方針>

中津川青年会議所は、「英知と勇気と情熱」を持って活動された先輩諸兄の取り組みが土台となり、本年度で63年目を迎えます。今もなお我々が活動できるのも、先輩諸兄が「明るい豊かな社会」の実現に向け、多くの方からの賛同をいただきながら、まちや人のために活動してこられたからだと考えます。2017年度、「未来への挑戦」～挑戦なくして成功なし！我々の行動が未来を変える！～をスローガンとし、中津川青年会議所がスタートします。新年会では、関係団体、特別会員の皆様に、日頃のご支援を感謝すると共に、本年度の志を表現する事で、我々の運動に引き続き賛同していただける設営、運営を心掛けます。

昨今、青少年を取り巻く社会問題は様々ありますが、生きていく上で必要な忍耐力や行動力、共感が希薄になり、上手く社会へ受け入れられない青少年がいると考えます。その要因には、「大人の価値観による子どものために」という過干渉で、子ども達は受動的な部分が多くなっており、直接体験をする機会の減少があるのではないのでしょうか。その事により、青少年期に育まれる直接体験の中で培われる主体性や個性、人間関係などが欠如し、「生きる力」の基盤が育ちに弱くなっていると考えます。

本年度、青少年委員会では、子ども達に対して体験型の事業を提供し、その体験をもとに気づき、考える力を養い、自ら行動する事ができる人財を育みます。その中で、自分の事は自分でやる「自立」、挑戦の中で成し遂げた充足感の中から身につく「勇気と自信」、相手の気持ちを想像し、自分が誰かの役に立つ喜びを知る事で育まれる「やさしさと思いやり」という3つの心の成長を養っていただき、今後の人生の「生きる力」の糧としていただけるような推進活動を行って参ります。多くの子ども達が自ら豊かな心を育て社会に巣立つ事ができれば、必ず「明るい豊かな社会」の実現に向けて前進するという志を持って活動して参ります。また、青年会議所メンバー全員が大人としての自覚を持って「世のため人のため」に行動し、子ども達に勇気を与えられる大人へと成長していただく事を

強く望みます。

私は委員長として、委員会メンバー全員が切磋琢磨しながら澁刺と活動する中で、何のための事業なのかを共有し、同じ志を持って成し遂げられる運営を目指します。何事にも挑戦の意識を持って取り組む中で、多くの事を学び、それを率先して展開して参ります。

< 事業計画 >

- ・ 青少年育成の推進
- ・ 新年会の開催

< 事業予算 >

- ・ 500,000円
- ・ 150,000円